

流行が繋ぐ

吉田萌音

若者たちによって国交が変えられるかもしれない。現在はグローバル化に対応するためか、留学する学生が増加している。また、私がそうであるように、SNSで他国の流行を知り、その国に興味を覚えることもある。このような交流がお互いの国に対する見方を変え、国交を良くすることができると思う。

私の趣味はK-POPを聴くことだ。今やK-POPは世界的に人気である。ある日、私はアメリカ人と交流する機会があり、私の趣味について話すと、「アメリカでもK-POPはすごい人気がある。」と言っていた。K-POPのダンスの魅力、分かりやすいサビやノリの良さが人気の秘訣なのだろうか。私はK-POPにハマっていくうちに、韓国のファッション、メイク、料理、ハングル文字などにも興味を引かれるようになった。

私のようにK-POPが好きで、韓国の生活スタイルに興味がある人はたくさんいて、ファッションを真似したり、実際に韓国に旅行したりしている。韓国人も日本のアニメ、音楽、ファッションが好きで旅行に来たり、留学したりする人もいる。

このように、一見日韓関係は良く思えるが、実際はそうではない。ニュースでは、日韓の問題ばかり報道されるが、若者たちの声をあまり聞いていないように思う。だから日本人は、韓国人は反日だと思い込み嫌韓感情を持つ。そのため相手国の印象を良く思う人は少ないだろう。私もK-POPを好きになる前は、ニュースで見たままの韓国しか知らなかったため、周りの考えに流され、悪い印象を持っていた。しかしこうした中、今韓国のK-POPの世界で、日本人が続々とデビューするという、これまでにない現象が起こっている。最近「TWICE」というK-POPグループが日韓で人気である。

このグループはこれまでにありそうでなかった日韓混合のグループで、9人中3人が日本人である。この3人の姿を見て、これまで日本に好感を持てなかった韓国人が、韓国で行われるコンサートで、日本語で書かれたボードをもってTWICEを応援する。また、TWICEがきっかけで日本人の友達を作る人もいる。一方、日本では、TWICEの影響でK-POPアイドルを目指すためのスクールが若者たちの間で人気となっている。K-POPの歌とダンスの高い完成度や、日本のアイドルとは違う姿に魅了されるのだ。ここでは、歌とダンスのレッスン、そして韓国語の勉強をする。最近では、オーディションでK-POPでの活躍が目覚ましい日本人に注目するようになってきている。

若者たちの意識の変化から、日本人と韓国人は、自然な交流を続けていることが分かる。領土や歴史などの問題はあっても、同じ夢を持った人が出会い、成長していくことは素晴らしいことだ。対立は対立として解決しなければならないが、だからといって、交流をやめていいのか。文化的な交流で親近感が増し、違った一面も見えてくるに違いない。この交流が国の印象を変え、そして国と国の懸け橋になるだろう。

